

改訂日:2016年03月11日

## 製品安全性データシート

## 1.【製品及び会社情報】

カタログ番号	278850
製品名	BD Difco™ XLD寒天培地500g
会社名	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
住所	東京都港区赤坂4丁目15番1号
連絡先	0120-8555-90
使用上の制限	利用可能時間:9:00 - 17:00(土曜、日曜、祝日、弊社指定休日を除く) 研究用試薬

## 2.【危険有害性の要約】

## GHS 分類

物理化学的危険	火薬類 可燃性・引火性ガス 可燃性・引火性エアゾール 支燃性・酸化性ガス 高圧ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火性液体 自然発火性固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過酸化物 金属腐食性物質	分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 区分外 区分外 区分外 分類できない 分類対象外 分類対象外 区分外 区分外 分類できない 分類対象外 分類対象外 区分外 区分外 分類できない 分類できない 分類できない 区分3 区分2B 分類できない 区分外 区分外 区分外 分類できない 分類できない 区分3(気道刺激性) 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:ガス) 急性毒性(吸入:蒸気) 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性	分類できない 分類できない 区分外 分類できない 分類できない 区分3 区分2B 分類できない 区分外 区分外 分類できない 分類できない 区分3(気道刺激性) 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性	分類できない 分類できない

シンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

皮膚刺激  
眼刺激  
呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

安全対策

- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

応急処置

- ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
- ・皮膚に付着した場合、石鹼と流水、シャワーで洗うこと。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼に入った場合、眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・吸入した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

保管

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄

- ・内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 【組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名または一般名	濃度(%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
ドデシル硫酸ナトリウム	4～5	151-21-3	(2)-1679	-
クエン酸鉄アンモニウム	1～2	1185-57-5	(1)-314、(2)-1324	-

## 4. 【応急措置】

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、石鹼と流水、シャワーで洗うこと。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

予想される急性症状および  
遅発性症状

吸入：咽頭痛、咳。  
眼：発赤、痛み。  
経口摂取：吐き気、嘔吐、下痢。

最も重要な兆候及び症状

皮膚炎を引き起こすことがある。

応急措置をする者の保護

データ無し

医師に対する特別注意事項

データ無し

## 5. 【火災時の措置】

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 激しく加熱すると燃焼する。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 消火の際は煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用し、風上から行う。

## 6. 【漏出時の措置】

人体に対する注意事項	消火作業の際は適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用し、風上から行う。
保護具および緊急措置	
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
回収・中和	漏洩物を密閉できる空容器に回収する。 漏洩物が飛散する場合は、水を散布し湿らしてから回収する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	危険でなければ漏れを止める。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 【取扱い及び保管上の注意】

取扱い	
技術的対策	「8. 曝露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気装置・全体換気	「8. 曝露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項	容器を転倒させ、落下させ、衝撃を与え、又は引きずる等の扱いをしない。 取扱い後はよく手を洗うこと。 使用前に使用説明書を入手すること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 飲み込まないこと。 皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管	
技術的対策	特に無し
混触禁止物質	「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管条件	容器は密栓し、光を避けて保管する。
容器包装材料	データ無し

## 8. 【曝露防止及び保護措置】

製品としての情報がないため以下、ドデシル硫酸ナトリウム及びクエン酸鉄アンモニウムの曝露防止及び保護措置を記載する。

管理濃度(作業環境評価基準)	未設定
許容濃度	
日本産業衛生学会 (2010年版)	未設定
ACGIH(2010年版)	TLV-TWA 1mg/m <sup>3</sup> (鉄水溶性塩)

設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。取扱い場所には局所用排気装置を設置し、換気を行なうこと。
保護具	呼吸器の保護具 適切な呼吸器保護具を着用すること。 手の保護具 適切な保護手袋を着用すること。 眼の保護具 適切な眼の保護具を着用すること。 皮膚及び身体の保護具 適切な保護具・保護衣を着用すること。
衛生対策	取扱い後は顔や手をよく洗うこと。

## 9. 【物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など	固体、粉末、桃色
臭い	特異臭
pH	7.4 ± 0.2
融点・凝固点	データ無し
沸点、沸騰範囲	データ無し
引火点	データ無し
発火温度	データ無し
爆発範囲	データ無し
蒸気圧	データ無し
蒸気密度	データ無し
比重(密度)	データ無し
溶解度	データ無し
n-オクタノール/水分配係数	データ無し
分解温度	データ無し
臭いの閾値	データ無し
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データ無し
燃焼性(固体、ガス)	データ無し
粘度	データ無し

## 10. 【安定性及び反応性】

製品としての情報がないため以下、ドデシル硫酸ナトリウム及びクエン酸鉄アンモニウムの安定性及び反応性情報を記載する。

安定性	通常取り扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	燃焼すると分解し、一酸化炭素やイオウ酸化物を含む有毒で腐食性のガスを生じる。強酸化剤や強酸と反応する。
避けるべき条件	燃焼
混触危険物質	強酸化剤や強酸
危険有害な分解生成物	一酸化炭素やイオウ酸化物を含む有毒で腐食性のガス

## 11. 【有害性情報】

製品としての情報がないため以下、ドデシル硫酸ナトリウム及びクエン酸鉄アンモニウムの有害性情報を記載する。

### ドデシル硫酸ナトリウム 急性毒性

経口	ラットを用いた経口投与試験のLD50値1,200 mg/kg (SIDS(1991))、2,730 mg/kg (EHC 169(1996))のうち、低い値1,200 mg/kg。
経皮	ウサギを用いた経皮投与試験のLD50値約600 mg/kg (SIDS(1991))、580 mg/kg (EHC 169(1996))。
吸入	吸入(ガス): GHS 定義上の固体であるため、ガスでの吸入は想定されず、分類対象外とした。

	吸入(蒸気): データがないので分類できない。
	吸入(粉じん): データがないので分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性・腐食性試験(OECD TG 404、GLP)において、PII: 6.0, 6.78 から「highly irritating」(ECETOC TR66(1995)、IUCLID(2000))と記述されているが、回復性に関する記述がない。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	ウサギを用いた眼刺激性・腐食性試験(OECD TG 405、GLP)において、「Modified Maximum Average Scores: 16.00; moderately irritating、59.17; irritating、60.50; irritating」(ECETOC TR48(1992)、IUCLID(2000))と記述されている。
呼吸器感受性	呼吸器感受性: データがないので分類できない。皮膚感受性: モルモットを用いた Maximization 試験で皮膚感受性を示さない(ECETOC TR77(1999))と記述されている。
生殖細胞変異原性	生殖細胞 in vivo 変異原性試験の小核試験で陰性(SIDS(1991)、EHC 169(1996))と記述されている。
発がん性	主要な国際的評価機関による評価がなされておらず、データが不十分なので分類できない。なお、「長期試験は行われているが、発がん性評価には不十分である。動物に混餌投与した試験では、アルキルサルフェイトの発がん性の証拠は得られなかった」(EHC 169(1996))旨の記述がある。
生殖毒性	EHC 169(1996)に記載の一次文献(東京衛研年報 (1976))によると、「マウス皮膚塗布による催奇形性試験において、母動物の体重増加が抑制された用量で、受胎率の低下、胎仔重量が低下し、発育遅延を認めた。口蓋裂や骨化遅延もみられるが有意なものではなく、本実験の口蓋裂の発生や着床の問題も含め、経口投与での試験の必要性がある」旨の記述があり、データ不足から分類できない。
特定標的臓器/全身毒性(単回)	マウス、ウサギ、モルモットでのエアロゾル曝露で気道刺激性がみられる(IUCLID(2000))、短期曝露で気道刺激性がみられる(ICSC(1997))との記述。
特定標的臓器/全身毒性(反復)	ラットを用いた2週間混餌投与試験において「肝臓重量増加がみられたラットの病理組織検査で、肝細胞がわずかに腫脹し分裂肝細胞数が増加していた。これらは本物質の投与に順応したものと考えられる。また、腎尿細管の上皮細胞の空胞変性、腎糸球体の萎縮がみられた」(EHC 169(1996))旨の記述がある。これらの症状は区分2のガイダンス値の範囲内で見られているが、肝臓における症状は、本物質の投与による有害影響とは考えられないので採用せず、区分2(腎臓)とした。なお、ウサギを用いた3ヶ月間経皮投与試験では「用量依存性の皮膚刺激性がみられた」(EHC 169(1996))旨のみ記述されている。
吸引性呼吸器有害性	データがないので分類できない。
クエン酸鉄アンモニウム 急性毒性	
	経口 ラット LD: >2mg/kg 胃、消化器-運動過剰、下痢 (RTECS) ラット TDLo: 16,800 mg/kg/14D-I (RTECS)
	経皮 データ無し
	吸入 データ無し
皮膚腐食性・刺激性	鉄水溶性塩は皮膚刺激性があるとされている 軽度の皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷・刺激性	データ無し ただし、眼に入ると、刺激、炎症のおそれがある。
呼吸器感受性	データ無し

生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	データ無し
特定標的臓器／全身毒性(単回)	データ無し
特定標的臓器／全身毒性(反復)	データ無し
吸引性呼吸器有害性	データ無し

## 12.【環境影響情報】

製品としての情報がないため以下、ドデシル硫酸ナトリウム及びクエン酸鉄アンモニウムの環境影響情報を記載する。

### ドデシル硫酸ナトリウム

水生環境急性有害性	甲殻類(アメリカンロブスター)の96時間LC50=0.72mg/L(SIDS, 1997)。
水生環境慢性有害性	急速分解性が有り(SIDS, 1997)、生物蓄積性が無い(LogKow=1.6, PHYSPROP)と推測される。

### クエン酸鉄アンモニウム

水生環境急性有害性	データ不足のため分類できない 鉄水溶性塩のため、大量に放出されると環境に有害のおそれがある。
水生環境慢性有害性	データ不足のため分類できない。 水に可溶のため、水生環境へ容易に拡散すると推測される。

## 13.【廃棄上の注意】

### 残余廃棄物

廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

## 14.【輸送上の注意】

### 国際規制

国連番号	該当なし
国連分類	該当なし

### 特別安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

## 15.【適用法令】

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、政令第18条第1号別表第9の352 鉄水溶性塩)(平成28年6月1日施行) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条、政令第18条の2別表第9の352 鉄水溶性塩)
労働基準法	該当なし
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)(政令番号第1-275号 ドデシル硫酸ナトリウム)
毒物及び劇物取締法	該当なし
大気汚染防止法	該当なし
水質汚濁防止法施行令第2条有害物質	有害物質(施行令第2条、第2項)(アンモニウム化合物)
海洋汚染防止法	該当なし
消防法	該当なし
船舶安全法	該当なし
航空法	該当なし

## 16. 【その他の情報】

### 参考文献

- ・ 厚生労働省ウェブサイト 職場のあんぜんサイト
- ・ 製品評価技術基盤機構 GHS混合物分類ツール（GHS改定2版対応版）

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の見取り図を対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

改訂履歴	新規作成	2013年10月24日	
	改訂第一版	2016年03月11日	3. 【組成、成分情報】クエン酸鉄アンモニウムの濃度記載を修正。 4. 【応急処置】を 4. 【応急措置】に修正。 15. 【適用法令】安全衛生法に「名称等を表示すべき危険物及び有害物(鉄水溶性塩)」を追加。